

平成26年6月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者
1	11	鈴木 一
2	15	中沢 一博
3	2	塩川 裕紀
4	14	黒滝 松男
5	9	笛木 晶
6	20	腰越 晃
7	4	清塚 武敏
8	5	勝又 貞夫
9	16	寺口 友彦
10	18	岡村 雅夫
11	17	中沢 俊一
12	7	桑原 圭美
13	6	佐藤 剛
14	12	塩谷 寿雄
15	8	山田 勝
16	3	田村 眞一
17	26	若井 達男
18	1	永井 拓三
計		18名

【質問方式】（いずれの場合も質問制限時間（答弁時間を含まない。）は30分）

一括質問一括答弁方式：全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。（初回は登壇して行い、質問回数は3回まで。）

一問一答方式：質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし、初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし。）

複合型一問一答方式：一問一答方式において、当該質問項目の最初の質問は、まとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質問内容
1	1 今後、人口減少抑止の一つの方策として、市職員は家族内1人とできないか
議席	
1 1	<p>私は共産主義者でも社会主義者でもない。また、市長や職員を責めるつもりもない。自分自身、資本主義の中で経済活動をしている者である。憲法の下、夫婦で勤めていることに何の違法もない。</p>
鈴木木	<p>市の人口減少は止まらない。大学を出ても地元就職口がない。ならば、親子相思相愛である市役所の門戸を広げられないものか、常に考えている。今、2人で勤めている人たちに辞めてくださいと言うつもりはない。今後、市の方針として考えられないか伺う。</p> <p>2 市の観光行政(スキー観光)について</p> <p>(1) 2013シーズンの入り込み状況はどうだったのか。</p> <p>(2) その結果を考慮し、2013シーズンをどう総括するのか。</p> <p>(3) それに伴い、今後のビジョンはどうか。</p> <p>(4) それを担う職員の立ち位置はどうか。この問題も人口減少の一因となっている。</p>
(複合型 一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
2	<p>1 人口減少問題と子育て支援策について</p>
議席	<p>2040年に896の地方自治体で若年女性が半減し、最終的にはその地方自治体は消滅する可能性があるとの、大変ショッキングな発表がなされた。</p>
15	<p>行政サービスがその地域からなくなるということであり、政治として対応すべき重要な課題である。人口急減回避のためには、井口市長自ら「子育て推進本部長」として、また「人口減少対策本部長」として英知を結集した中で、出生率の向上や地方の活性化が主要なテーマになると考える。そこで次の点について伺う。</p>
中 沢 一 博 (二 問 一 答 方式)	<p>(1) 当市の人口推移と実態、取り組むべき課題は。</p> <p>(2) 子育て支援策に、不育症治療への公費助成を。</p> <p>(3) 子育て支援策に、第3子保育料の無償化を。</p> <p>(4) 若者が定住する、地域活性化への施策推進について</p> <p>2 市民の健康推進について</p> <p>市民の命と健康を守り抜くことは、政治の大事な使命である。どう健（検）診受診率を上げて市民を守るか、官民一体となつての取組み強化が問われている。また、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につながる。当市の健康推進策を伺う。</p> <p>(1) 当市の健（検）診受診率の実態と対策について</p> <p>(2) 受診結果への対応は。</p> <p>(3) アルコール健康障がいの実態は。</p> <p>(4) 今後の健（検）診体制整備について</p> <p>(5) 「健康マイレージ制度」について、その後の考え方は。</p>

質問 順位	質 問 内 容
3	<p>南魚沼市図書館と「ふれ愛カード」南魚沼サービス店会との連携について</p>
議席	
2	
<p>塩 川 裕 紀</p> <p>(一括質問一括答弁方式)</p>	<p>現在まで、南魚沼サービス店会の「ふれ愛カード」の満店カードを加盟店でTAXサポート券に交換し、市税の納税に使用できる制度は、好評を得てきた。</p> <p>地域の商店街活性化のためにも、南魚沼サービス店会と連携し、南魚沼市図書館で本を借りた方々にポイントを付けてはどうか。</p>

質問 順位	質問内容
4	<p>1 外資による森林買収に歯止めを</p>
議席	
14	<p>「水循環基本法」が成立した。水資源の乱開発を防ぎ、中国などの外資による森林買収に歯止めをかけることが期待される。これを受けて「新潟県水源地域の保全に関する条例」が制定され、平成26年7月1日から水源地域の土地売買等事前届出制度が開始されるが、対応について伺う。</p>
黒 滝 松 男	<p>(1) 当市の外資(日本人名義も含む)による水源地域の売買の実態は。</p> <p>(2) 当市では所有者不明の山林等はあるのか。</p> <p>(3) 国・県の動向を踏まえ、今後の対応は。</p> <p>2 水道水の加温による融雪について</p> <p>平成25年度と26年度の2シーズン、水道水の加温による融雪実験を行った。これを受け、今後の対応について伺う。</p> <p>(1) 実験の結果と問題点について</p> <p>(2) 今後の取組みは。</p>
(複合型一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
5	<p>定住促進対策について</p>
議席	
9	<p>大和地域のしいたけ栽培を定住促進対策へつなげ、新規就農者を確保し、意欲を持って取り組める体制づくりができないか。市長の考えを伺う。</p>
<p>笛 木 晶</p> <p>(一問一答方式)</p>	

質問 順位	質問 内 容
6	<p style="text-align: center;">子ども・若者育成支援について</p>
議席	
20	
腰 越 晃	<p>子ども・若者育成支援については、ニート、ひきこもりや不登校、発達障がいなど問題を抱える子ども・若者を支援するため、平成23年に子ども・若者育成支援センターを設置した。また保育園でのUD支援事業、各小中学校における特別支援学級の設置や総合支援学校の設定など、先駆的な取り組みを実施し、次世代を託す子ども・若者の支援を積極的に進めていることは評価されるべきと考える。</p> <p>近年少子化が一段と進む中で、次世代を担う若者や子どもたちの健やかな成長と逞しく生きる力の醸成、そのための子育てや教育において、家庭と保育園や学校だけでなく、地域社会や行政の支援はますます重要度が増している。</p> <p>子ども・若者育成支援センター設置から3年、少子化・人口減少の問題が、徐々に顕在化している状況で、これまでの取り組みの内容、改善された点、課題として把握された内容、今後の施策事業展開の課題と実施する諸点について伺う。</p>
(一括質問一括 回答方式)	<p>(1) 現状把握</p> <p>①行政施策事業のプライオリティの評価 子ども・若者育成支援諸施策・事業の必要度の認識について</p> <p>②諸施策事業のこれまでの効果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各対象事例に対して(発達障がい、不登校、ニート、ひきこもり、DVなど) ・家庭、地域、保育園、学校に対して <p>(2) 今後の方向性について</p> <p>①現状の課題・問題点と改善方策について</p> <p>②生涯学習における取扱いについて</p>

質問 順位	質問 内 容
7	<p>1 公衆無線LAN環境整備に向けた取組みについて</p>
議席	
4	
清 塚 武 敏 (一問一答方式)	<p>スマートフォンやタブレット端末など、無線LAN機能を搭載した移動通信端末の急速な普及には目覚ましいものがあり、携帯通信網の負荷軽減回線として、携帯電話事業者等により整備、運用の強化が進んでいる。また、市内の商業施設（店舗等）でも、これらの端末が利用できるよう無線LANのアクセスポイントを設置しているところが多くなっている。当市でも、市役所や図書館を含む7か所で公衆無線LAN機器「フリースポット」が設置されている。市内を訪れる観光客、ビジネスマン、市民などへ幅広く無料の通信環境を提供することで、行政情報の発信はもとより、災害時の通信手段確保や、市内全体の情報化を進めることができるかと考える。市内主要公共施設並びに観光地で、自由にインターネットができる環境整備にどう取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(1) 市の公共施設、観光スポット等での環境整備状況と、今後の計画は如何に。また民間など、観光集客施設とはどうかかわっていくのか。</p> <p>(2) 災害時等の情報伝達では、メールによる防災情報連絡システムやFMゆきぐにとの連携が整備されているが、行政区の緊急一時避難所等に耐災害性の高い公衆無線LANを整備する考えはあるか。</p> <p>(3) 市の公式ウェブサイト、そして観光協会の電子パンフレットはよくできていると思うが、今後、内外の観光客増加に向けての利便性向上や、若者が南魚沼市に住んでみたくなるようなウェブサイトの充実はどう取り組んでいくのか。</p>
	<p>2 10年後に向けて、市民の声を</p> <p>(1) 冬でも夏でも、高齢者や女性が安心して駐車できるスペースがある本庁舎駐車場の整備計画は。</p> <p>(2) 市民の山である坂戸山山頂に、バイオトイレ設置の考えは。</p>

質問 順位	質 問 内 容
8	<p>1 市民サービスの拡充と市民目線の改革とは</p>
議席	
5	<p>南魚沼市の行政改革大綱に「市民参画の推進、組織改革・人材育成の推進」とある。この点に関して、市民サービスの拡充および市民目線の改革とはどのようなものと考えているか。市長の所見を問う。</p>
勝	<p>(1) 市政モニターのシステムは十分に機能しているか。 (2) アクションプランによる改革の推進とその評価・公表は十分になされているか。</p>
又	<p>2 図書館の今後の改善について</p>
貞夫	<p>新図書館は全市民が無料で利用できる知的空間であると認識している。この市民の財産としての図書館をより良く利用・活用してもらうためには、まだまだ多くの改善が必要と思うが、今後の対応について市長の所見を問う。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問内容
10	<p>1 自衛隊の夜間行進訓練について</p>
議席	
18	<p>市報で自衛隊の訓練が予告された。何故自衛隊が武装して、市中で訓練なのか、何を注意するのか説明がない。</p>
岡 村 雅 夫 (複合型 一問一答 方式)	<p>(1) 記事についての説明を求める。</p>
	<p>(2) 集団的自衛権行使容認の動きの中で、不安を抱かせる訓練は断れなかったか。</p>
	<p>(3) 歴代の内閣は、集団的自衛権行使の禁止を表明してきた。市長の見解を伺う。</p>
	<p>2 少子超高齢化社会について</p>
	<p>2025年問題が取りざたされている。経験したことのない社会がやってくる。第6期介護保険計画の考えを伺う。併せて「要支援者」対策を伺う。</p>
	<p>(1) 老人保健施設の計画を。</p>
	<p>(2) 城内診療所の計画は。</p>
	<p>(3) 老人福祉センターの充実を。</p>
	<p>(4) 大崎保育園の駐車場整備を。</p>

質問 順位	質 問 内 容
1 1	<p>1 「新水道ビジョン」コスト面の検証を急げ</p>
議 席	
1 7	
中 沢 俊 一 (複合型 一問一答 方式)	<p>市は昨年4月、「南魚沼市水道ビジョン（平成24年度改訂）」を 発表した。その理念には、「将来想定しうる課題に対して適切に対 処しつつ、市民に安心・安全な水道水を安定的にかつ低廉な料金 で供給する」とある。この大きな使命に応えるべく、このビジョ ンの利点・欠点を早急に吟味し、特にコスト面での的確な検証に 努めなければならない。以下4点につき、市長の見解を質す。</p> <p>(1) 現施設（主として浄水場）に生じつつある、安全面での課題 と見通し</p> <p>(2) 新ビジョンで想定する水源確保に伴い生ずる利点と課題</p> <p>(3) 新ビジョンが及ぼす従来継続事業（老朽管更新等）への影響</p> <p>(4) 水道水製造原価の改善及び水道料金値下げへの見通し</p>
	<p>2 若者の定住促進に真の競争力を磨け</p> <p>昨年公表された我が国の2040年における人口推計は、改めて全 国の自治体に衝撃を与えた。当市は新潟県内において、順位的に は人口減少率の低い自治体と想定されてはいるが、すぐ下位には 20%台前半の多くの自治体がひしめいている。全国的に見ると、 新潟県そのものの減少率が相当高いことにも留意が必要だ。以下 2点につき、市長の定住促進策を質す。</p> <p>(1) 若者定住促進策としての「ものづくり」戦略（農業含む）の 展開</p> <p>(2) サービス業を支える、消費の絶対量確保（総人口に比例）と グレードアップ</p>

質問 順位	質問 内 容
12	<p style="text-align: center;">小・中学校の課外活動に対する支援拡充を</p> <p>合併以来、ハード面の整備を進めてきた教育部門において、今後はソフト面の充実を図ることが求められる。小・中学校の、特に課外活動における具体的な支援の方向性(課外スポーツクラブの送迎バス代、大会参加費、クロスカントリースキー用具購入費、音楽クラブの楽器のメンテナンス等)について、行政はどのように支援していけるのか伺う。</p>
議席	
7	
<p style="text-align: center;">桑 原 圭 美</p> <p style="text-align: center;">(一問一答方式)</p>	

質問 順位	質問 内 容
13	<p>1 平成27年6月の医療体制は</p>
議席	<p>(1) 平成27年6月の魚沼基幹病院開院は、どういう形でスタートするのか。その時点で、これから建設が始まる南魚沼市民病院は、どの程度の進捗を予定するのか。そういう状況での現県立六日町病院、現県立小出病院、ゆきぐに大和病院、併せて南魚沼市民病院はどういう運営を想定して準備を進めているのか。</p>
6	<p>(2) 南魚沼市民病院140床、ゆきぐに大和病院40床の再編をどのくらい先に見据えているのか。</p>
佐	<p>2 魚沼基幹病院開院を契機とした交通アクセスの改善</p>
藤	<p>(1) 広域観光を含む広域連携の定住自立圏の中心市に向けた交通アクセス整備の必要性と可能性について</p>
剛	<p>(2) メディカルタウン構想及び魚沼医療圏の中心としての交通アクセス改善について</p>
剛	<p>①今こそ、ほくほく線、只見線の浦佐駅乗り入れ実現を。 ②浦佐駅在来線ホームのエレベーター設置を。 ③大和スマートインターの24時間利用への取組み強化を。</p>
一	<p>3 人口減少対策を中心に据える次期総合計画を</p>
問	<p>(1) 2011年の地方自治法改正で基本構想の策定義務が消えたことの意味と、これからの自治体に求められることは。</p>
答	<p>(2) 今後の行政の最重点課題である人口減少対策を中心に据えた次期総合計画を。</p>
方式	<p>(3) 総合計画、財政計画、行政改革の三位一体的なシステムづくり (4) 成果指標を示した総合計画と、分野別計画との整合性の確保 (5) 市民参加と職員参加による策定の手法とスケジュール</p>

質問 順位	質問内容
14	<p style="text-align: center;">学校教育について</p>
議席	<p>(1) 体験学習や宿泊学習に取り組んでは。</p>
12	<p>(2) 教職員について</p>
<p style="text-align: center;">塩 谷 寿 雄</p> <p style="text-align: center;">（一問一答方式）</p>	

質問 順位	質問 内 容
15	<p>1 雇用確保への考えを問う</p>
議席	
8	
山 田 勝	<p>人口減少が加速化しているが、地域の人口減少は、「社会減」といわれる若者の都市部流出によって続いている。バブル崩壊後はリストラ、ダウンサイジング、アウトソーシング及び非正規労働者雇用が進み、「縮小均衡型のわな」による負のスパイラルが「人口減少」や「社会減」を生んでいる。</p> <p>行政としてここからの脱却に向け何が出来るか。若者の定着や人口減少への歯止めをどのように考えているのか。メディカルタウン構想や国土強靱化政策が謳われるが、今後地域の若者の雇用確保への考えを問う。</p> <p>(1) 本市の雇用状況について (2) 人材の育成と人材確保について (3) 高齢者増加の中での雇用確保について (4) 高学歴社会とIT化による労働環境について (5) 公共事業と雇用の創出について</p>
(一問一答方式)	<p>2 森林・山村多面的機能発揮対策への取組みを</p> <p>高齢化・過疎化、森林材の価値低減化によって山々が荒れた状態になっている。山村では共同作業などで集落機能の低下がみられ、生物多様性のバランスが崩れて鳥獣被害が発生し、水源涵養や災害防止の点からも憂慮される状況にある。</p> <p>地域が持つ山資源やその大切さを次世代に伝える時間的限界も近づきつつある。今、表題の対策への支援制度があるこの数年の内に、道筋を付けるべきと考えるが。</p>

質問 順位	質問内容
16	<p>1 親から子どもへの貧困の連鎖を断ち切る対策を</p>
議席	
3	
田 村 眞 一 (複合型 一問一答方式)	<p>子どもの貧困は年々広がり、子どもの6～7人に1人が貧困状態という過去最悪の水準となっている。人生が始まったばかりの時期に、教育を受ける権利や機会を奪われ、将来に対する夢や希望すら持てない子どもが増え続けていることは、一刻たりとも放置できない。子どもは生まれてくる親や家庭を選ぶことはできない。子どもの貧困は、個人の「自助努力」や「自己責任」では解決できない。貧困が親の世代から子どもに連鎖していく現実について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 1999年の労働法制改正が貧困の要因と思うが。</p> <p>(2) 「1人で悩みをかかえず、周りの大人に相談してほしい」の声かけ、メッセージの発信を教育現場などあらゆる機会で行っていくべきと考えるが。</p> <p>(3) 若者への総合的支援を行う相談窓口の設置、「奨学金が返済できない」という若者の現実に応えた対策が必要と考えるが。</p> <p>2 子どもを大切にす市政を目標にすえ、保育の量と質のさらなる拡充を</p> <p>(1) 人口減少社会の中で、「住みたくなる第一条件は子育てがしやすい街」を目標にすべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 核家族化、共働き、携帯電話やスマートフォンによるマスメディアの広がりなど、こうした子どもをとりまく環境の激変が子どもに与える影響について認識を伺う。</p> <p>(3) 昔も今も、自由に大人に問いかけ、感情を発し、それを受け止めてもらいたいという子どもの権利を最優先に保障する保育が求められていると思うが。</p> <p>(4) 公立保育園の増設、正職員や有資格者の増員、研修機会の保障及びエアコンの設置など保育環境の整備をさらにすすめる必要があると考えるが。</p> <p>(5) 子どもに関わるすべての機関が連携する体制を強め、子育て支援の取組みを地域全体で底上げする必要があると考えるが。</p>

質問 順位	質問内容
17	<p style="text-align: center;">「機は熟した」今こそスポーツ健康都市宣言を</p>
議席	
26	
<p style="text-align: center;">若 井 達 男</p> <p style="text-align: center;">（一括質問一括答弁方式）</p>	<p>(1) ソチ冬季オリンピックにおける小野塚彩那選手の銅メダリスト誕生と、2016年に当市開催の知的障がい者の全国スポーツ大会「スペシャルオリンピックス」について</p> <p>(2) 市内4大マラソン大会の位置付けを。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八海山登山マラソン ・南魚沼グルメマラソン ・浦佐温泉耐久山岳マラソン ・南魚沼コシヒカリRUN in 石打 <p>(3) スポーツ施設のより一層の充実を。</p>

質問 順位	質問 内 容
18	1 下水道不明水に関して
議席	
1	
永 井 拓 三 (複合型 一問一答方式)	<p>我が市における下水道不明水（以下「不明水」）の問題は、今後、市の下水道事業を考える上で重要である。特に経済的な負担は言うまでもないが、この不明水は管路の不良が主な原因である。管路への雨水などの侵入水を放置すると、硫化水素によりコンクリートや管路が腐食し、砂が入り込み、管路のたるみや蛇行を発生させる。以上のような状況が続くと、道路の陥没や下水能力の低下が起こる。また最悪の場合、下水道が使用できなくなることも考えられるため、早期の対応が必要と考える。特に、地震や水害などと直結した関係性を持つこの不明水に対して、防災面から以下のとおり質問する。</p>
	<p>(1) 不明水に対する調査を、市内全域で詳細に行う計画はあるのか。</p> <p>(2) 災害時に対する備えも含め、補修を行う計画はどのようなものか。</p>
	2 小水力発電について
	<p>原子力発電所を柏崎に抱える新潟県のエネルギー問題について、我が市の姿勢を伺う。新潟県は東日本大震災前に小水力発電の可能性を県内全域で調査し、我が市にもその将来性があるという結果を発表している。施設としての初期投資は必要だが、売電目的だけではなく、災害時のバックアップ電源として、最低限の行政機能を維持するための電源を確保するためにも注目できる。</p> <p>通常時は初期投資を回収することを前提に稼働させ、非常時は市民の生命線となるようなものが今後必要かと考えるが、その点について伺う。</p> <p>(1) 市長の再生可能エネルギーや自然エネルギーに対する考えは いかに。</p> <p>(2) 20年先の南魚沼市を見据えて、現在の非常時の電源に対する 備えはいかに。</p> <p>(3) 小水力発電を非常電源にという観点を加えて構築することを どのように考えるか。</p>